

政治にタックル！  
こういち

松本 浩一

ホームページ

<http://matsumotokoichi.web.fc2.com/>

松本浩一 独自の 地域限定目安箱で住民参加型の行政を！



討議資料

生活は刻一刻と進んでいます。行政・議会はそんな私達の日常を踏まえた上で、政を行っていかねばなりません。しかし、行政・議会は私達の生活に密接した政治を行っているのでしょうか。区民を無視した行政を変えるため住民参加による行政の管理が必要です。区民・地域のニーズに合った行政を行うためには、「地域の声」を行政・議会に効率よく、柔軟に伝えていくことのできる住民参加のあり方について考えていく必要があります。

### ☆新しい住民参加で悪しき政治を突きくずせ！☆

私達の考える住民参加の形とは、地方・地域ごとで異なる問題点等を、地域ごとに集め、話し合い、誰もが地域行政に参加し、実際に住民の生活に反映させていくことが出来るということです。しかし、今の行政は住民参加となっているのでしょうか。

私達は、議員と地域の有力者のずぶずぶな関係が、政治・議員の腐敗を生み出しているように感じます。一つの事例があります。杉並区内のある通りにサクラを植えるのか、他の樹を植えるのかという問題がありました。住民はサクラを望み、署名活動もしましたが、有力者によってすでに他の樹が選定されており、住民の意見を聞くことなく決定がなされていたという事態が現実起こっています。

このような悪しき現実を打破して、議員と有力者で地域を作り上げるのではなく、誰もが地域行政に参加し、話し合い、地域の住民の力で町作りを行っていくことが必要です。そして、このような地域住民の相違をまとめる場に参加し、町作りのために明確なアイデアを出せる人間を議員として選んでいかなければなりません。このようにして、住民から問題提起をしていくための仕組みとして「地域限定目安箱」の設置を行います。

本来の住民参加には、一部の實力者の要望に応えるのではなく、住民の本当の意味での行政に対する参加が不可欠です。「地域限定目安箱」によって、住民の意見をくみ上げ、それに基づいて、場合によっては話し合いの場を作り、議員はそれを議会・行政で取り上げていき、住民の皆様の住環境を整えていくことが必要です。誰もが行政に参加し、地域の町作りに関心を持つことで、本当の意味での「住民参加」を作り出すことができます。

### プロフィール

- ◇昭和 56 年 2 月 14 日生  
広島県出身 30 歳
- ◇平成 16 年 4 月 早稲田大学  
社会科学部入学
- ◇早稲田大学ラグビー蹴球部  
に入部。上井草のグラウンドで  
入部式を迎える。早稲田の  
代名詞である「文武両道」  
を成し遂げるため精進する。
- ◇清水建設ブルーシャークス  
(当時ラグビートップイース  
ト)入部
- ◇平成 20 年 3 月 早稲田大学  
社会科学部卒業
- ◇平成 20 年 4 月 有限会社パ  
イン入社。10 月 常務取締役  
就任
- ◇現在 家業を行いながら、N  
TT日比谷ラグビー部副主  
将、杉並光友会(杉並区原  
爆被爆者の会)役員、杉並  
消防団第 4 分団団員

### 趣味

ラグビー ラグビー試合鑑賞  
ウエイトトレーニング 料理

### Twitter アカウント

Matsumoto\_501 フォロー  
お待ちしております！

※フェイスブック、ブログもや  
ってます！随時更新中！

ブログ <http://ameblo.jp/matsumotokoichi/> フェイスブック <http://www.facebook.com/matsumoto.koichi501>